

たかぎ



議会だより

No.42

平成20年7月

発行 長野県喬木村議会
編集 議会だより編集委員会
発行責任者 山田義勝
印刷 龍共印刷(株)



子連れ家族でにぎわう氏乗雨沢のブルーベリー園

平成20年第2回定例会… 2～4

常任委員会報告…………… 5

議会活動…………… 6

一般質問…………… 7～11

私の一言……………12

議会日誌……………12

あとがき……………12

老人福祉センター改修工事 3千万円・ 中学校雨漏り対策工事 1千90万円を補正

平成20年第2回定例会が6月4日から6月23日までの20日間の会期で開催されました。この議会に村長から提出された専決処分・報告等12件、議案では監査委員の選任他、人事案件2件・条例の一部改正1件・村道路線の認定1件・平成20年度補正予算4件・請願3件・陳情1件を承認、議決、採択し、意見書を関係機関へ提出することに決定、継続審査は不採択となりました。

議員の一般質問には、10人から18項目にわたり村政に対しての村の方針等について村長、教育長の考えをいただきました。

専決処分

○条例改正

- ・ 地方税法の改正にと
もなう、村税条例・
国民健康保険税条例
の一部改正
- ・ 損害補償の基準を定
める政令の改正にと
もなう、喬木村消防
団員等公務災害補償
条例の一部改正

○予算

- ・ 年度末の精算等によ

報告

り、平成19年度一般
会計予算・特別会計
の専決処分として報
告があり、承認され
ました。

○平成19年度一般会計予
算繰越明許費繰越計算
書

- 村道7号線
- 4千6百65万4千円

○平成19年度喬木村社会
福祉協議会事業・決算

人事

報告、平成20年度事業
計画・予算について報
告がありました。

○監査委員の任期満了に
より、喬木村5799
番地、原直通氏が選任
同意されました。

○固定資産評価審査委員
会委員の任期満了によ
り、喬木村15958
番地2、矢澤武氏が選
任・同意されました。

勇退

○平成16年6月から1期
4年間村の監査委員を
務めてこられた、富田
の大崎悦雄さんがこの
たび、任期満了に伴い
勇退されました。

この間「有たかぎ」
「村社協」の監査委員も



大崎悦雄氏

平成19年度 専決補正予算

会計名		補正金額	予算総額
一般会計 (第7号)		△ 4,716万9千円	40億4,352万0千円
特別会計	国民健康保険 (第4号)	1,479万4千円	5億8,437万7千円
	老人保健医療事業 (第4号)	△ 1,791万6千円	8億3,300万0千円
	介護保険 (第4号)	△ 1,728万6千円	5億6,309万2千円
	村営水道 (第5号)	△ 794万1千円	3億6,218万2千円
	下水 (第4号)	△ 913万0千円	2億3,164万2千円
	農業集落排水 (第4号)	△ 463万6千円	6,695万4千円

務めました。

条例改正等

○国民健康保険税条例の一部改正

国保税率の変更

国庫負担金の算定基礎に問題があり、このため保険税率が上がる原因になっているので、同意出来ないとの意見があつたが、多数決で可決と決定された。

○村道路線の認定

村道291号線(中原住宅団地北側)

補正予算

○一般会計

・公有財産購入費(第二小プール横)

735万円

・老人福祉センター改修工事(追加)

3,000万円

・有害鳥獣防護柵設置補助

100万円

・防災倉庫(富田地区)

防災機器整備費(阿島自治会・小川自治会)

277万円

・地域公共施設耐震改修補助

200万円

・中学校雨漏り対策工事

1,090万円

○村営水道特別会計

・歯科医療費負担金

1人分90万円

・配水布設工事等

○下水道特別会計

本管管路布設工事

○農業集落排水特別会計

公共マス取付管工事

請願・陳情

◇「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める

請願書……採択・関係

機関へ意見書提出

請願者

喬木村1562

原 英章

平成20年度 6月補正予算

会計名	補正金額	予算総額
一般会計(第1号)	7,856万9千円	29億7,856万9千円
特別会計		
村営水道(第1号)	300万0千円	4億6,800万0千円
下水道(第1号)	801万3千円	2億2,701万3千円
農業集落排水(第1号)	300万4千円	6,900万4千円

◇長野県独自の30人規模

学級の小・中全学年へ

の早期拡大と複式学級の

解消、県独自に教職員

配置増を求める意見

書提出に関する請願書

……採択・関係機関へ

意見書提出

請願者

喬木村1562

原 英章

◇少人数学級の早期実現

や複式学級の編成基準

の改善、教職員定数増

を求める意見書提出に

関する陳情書……採択・

関係機関へ意見書提出

陳情者

喬木村1562

原 英章

◇「仕事と生活の調和

(ワークライフバランス)

ス」のまちづくり宣言」

採択にかかわる陳情書

……採択

陳情者

喬木村2778

林 克則

◇森林環境税の創設と森

林・林業・木材関連産業

政策の充実を求める請

願書(継続審査)……不

採択

陳情者

南信地区森林労連

執行委員長 宮澤英明

議員発議

◇世界的な食料危機を背

景に、わが国農業の生

産振興による食料自給

率の向上を求める意見

書……内閣総理大臣福

田康夫ほか関係機関へ

提出

〈意見書は4頁に掲載〉



改修工事がされる老人福祉センター

世界的な食料危機を背景に、 わが国農業の生産振興による食料自給率の向上を求める意見書

いま、地球規模で食料需給が逼迫の度合いを強める事態がおきつつある。小麦、トウモロコシ、大豆、コメなど主要食糧の国際価格高騰に伴い、世界各地で暴動や抗議デモが相次いで引き起こされていることは、実に異常な事態である。

そもそも、こうした事態の背景は、①原油資源の不足による異常な高騰が、バイオ燃料への穀物利用を増大させ、②中国、インドなど人口大国の爆発的発展がもたらす穀物需要増、③地球温暖化に影響される気候変動による生産の不安定性、④世界的投機資金の穀物市場流入などが主因と考えられる。まさに食の奪い合いに見る如く、食料配分の世界秩序にきしみが生じたと思えるをえないのである。

こうした食料危機を、今まさに世界共通の重大問題としてとらえ、このほど国連の食糧農業機構（FAO）加盟の191カ国は本部ローマに於いて、「食料サミット」を開催し現下の食料価格高騰への対応策、食糧の輸出規制、バイオ燃料への対処策など、国際社会における緊急協調行動が宣言されている。

一方わが国に於いても、昨今ガソリンなど燃料高騰に併せ、穀物原料に端を発する食料品の値上げが家計を直撃している事態は誠に遺憾である。わが国の食料政策は、その根底に高い技術力にモノをいわせて製品を輸出し、その稼ぎで資源や食糧を買えばよいとする、まさに経済合理主義にまかせた安上がり農政に終始してきている。

しかしこれからは、カネを出しても資源や食糧がたやすく手に入らないとなったらどうなるか。「食と農」がいよいよ国民的関心事となっている今こそ、食料輸入一辺倒の政策を大転換すべきときである。2007食料農業農村白書がいう、国内生産の増大による自給率向上こそ国家的課題である。

しかし、自給率低下の背景には、農業の生産性が低く労働の割に稼ぎが少ないための農業ばなれによる農村の荒廃を見逃すことが出来ない。こうした食糧基盤のもろさを改革することは至難の業であるが、いま喫緊の課題として国民的合意を得つつ、農業の生産振興をこそ国家的戦略の第一に位置づける中で、下記事項を実現するよう強く要望する。

記

1. 国内の食料自給率向上にむけた諸対策を確立、実践すること。
2. 農業者が安んじて営めるよう生産政策、価格保障を実現すると共に、意欲ある担い手の育成に努めること。
3. 農地の有効利活用をはかる政策改革の実現。
4. 地球温暖化に対応できる農業技術体系の確立。
5. 安全、安心、良質な食糧生産にかかわる戦略的広報へのとりくみ。
6. 燃料価格の高騰をおさえる諸対策の実現。
7. 「骨太方針08」へ国内農業生産力強化拡大対策をうたいこむこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成20年6月23日

長野県下伊那郡喬木村議会

総務産業建設常任委員会

当委員会に付託された議案は村道認定1件、20年度補正予算4件、村道路線の認定は中原住宅団地内道路。補正予算は第二小学校プール横の土地購入費などでそれぞれ可決した。

請願については3月の委員会で継続審査になっていた森林環境税の創設と森林、林業、木材の関連産業の充実を求める請願で4月に勉強会を行ったが、請願者から十分な説明がないままで再度内容を改めて提出してもらおうとし不採択。また議員発議、「世界

的な食料危機を背景にわが国農業の生産振興による食料自給率の向上を求める意見書」を政府関係機関に提出することに決定した。この意見書はいま日本の食料自給率が先進国でも一番低い水準の現状を農家が安心して経営を行える政策や遊休農地対策等を取り組む内容です。当委員会

は、国へ意見書を出すと共に、自分たちの住む地域への呼びかけも行っていくことを全員一致で確認した。

又7月に行われる北部ブロックの議員研修会へ、上飯田線小川の湯から氏乗までの改修工事、阿島橋の補強、△コープから小川渡の交差点までの歩道整備を含めた安全対策を具へ要望事項として提出することに決定した。

当委員会に付託された議案2件を可決、請願3件、陳情1件はいづれも採択された。

喬木村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定については、国庫負担金が予算は1億7千61万円に対して、再算定7千5百14万円となっているが、算定の基準値が違うのではと指摘された。国保税額からむため時間をかけて討論した。特に単年度決算では繰越金が大幅に出ない程度の保険税が望ましいのではという意見も出された。

飯田ケーブルテレビ見学



社会文教常任委員会

再算定の際には、国保税を下げるという考えでやっていくということでも可決した。

一般会計補正予算で、喬木村老人福祉センター内部改修工事3千万円の追加は、大幅



特養喬木荘視察

な増額であり、最初の設計を慎重にすること。入札は指名競争入札でなく一般競争入札にすべきではないか。最低落札金額を決める必要がある。これ以上の増額はないかなどの意見が出された。

中学校の雨漏り工事1千90万円は、学校からの連絡で知ったとあるが、教育委員会と学校のコミュニケーションをとりながら、生徒が安心して勉強出来るように等の意

見が出たが可決された。請願3件は、義務教育の国庫負担の堅持、長野県独自の30人学級の早期拡大、少人数学級を求める教育関係のもので採択し、意見書を関係機関へ提出することに決めた。

陳情「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のまちづくり宣言」は必要なことだというところで採択した。委員会修了後、特養喬木荘を視察した。

各常任委員会報告

議会活動

**道路特定財源確保緊急
全国大会**

4月17日東京日比谷公会堂
○暫定税率の継続を求め
る地方の声！総決起大
会

高等学校改革検討小委員会

5月1日飯田合同庁舎
○県教育委員会との懇談
会

**氏乗区ふるさと応援団
設立記念式典**

5月4日氏乗集落センター
○望郷の灯 除幕式

飯田建設事務所要望活動

5月14日飯田合同庁舎
○参加者 5区長・議長・
正副常任委員長・村長・
課長

要望箇所

○県道上飯田線、小川く
氏乗北区間の拡幅改良



工事が進む三遠南信自動車道、三遠トンネル

整備促進、Aコープ前
く新小川渡橋北交差点
間の歩道整備促進

○主要地方道下条米川飯
田線、富田地区以南の
拡幅改良整備促進

○主要地方道伊那生田飯
田線、伊久間地区の拡
幅改良整備促進

○県道大島阿島線、加々
須地区く大島地区間の
拡幅改良整備促進

**北部ブロック正副議長
視察研修**

5月15日く16日
○視察先ー浜松市三遠南
信、引佐地区

三遠南信自動車道
は、飯田市と静岡県引
佐郡三ヶ日町を結ぶ延
長約100kmの高規格
幹線道路です。

完成すれば南信と三
河・遠州地域との時間

距離を大幅に短縮する
ため、新たな観光資
源の活用・産業の進展・
過疎地域の振興など、
広域的な県境を越えた
さまざまな経済・文化
圏の形成に大きく寄与
することが期待されて
いる。

今回の視察箇所は、
三遠トンネル新設工事
で、トンネル本坑1千
7百19m、平成20年8
月31日完成予定です。

**全国町村議会正・副議
長研修会**

5月20日・21日東京
○講演会

「汗だせ、知恵だせ、地方分
権」ー伊藤忠商事株式
会社取締役会長・地方
分権改革推進委員会委
員長・丹羽宇一郎

「地球に優しい暮らし方」
ーエッセイストー
イーデス・ハンソン氏

「国民の新しいふるさとと
しての町村の存在価値
と役割」

早稲田大学教授・総務
省・過疎問題懇談会座
長・宮口何迪氏

○シンポジウム
基調講演

「住民自治の村づくりへの
取組みについて」秋田
県大潟村村長・黒瀬喜
多氏

「あるべき議会像を求めて」
コーデイネーター・中
央大学法学部教授・今
村都南雄氏

パネラー 庄内町議長・
梅木隆氏 箕輪町議
長・上嶋貞一氏 さつ
ま町議長・濱田等氏

地域課題検討委員会

5月22日飯田合同庁舎
地域課題検討委員会は
当面する課題として、高
校プランについて検討す
ることになり、3月24日、4
月16日、5月2日に開催
し、今回4回目となった。

委員会では、「新設され
る高校の校地・校舎を飯
田工業高校にするのか、
あるいは飯田長姫高校に
するのか総合的な見地か
ら検討する」ということ
で、県教委が素案を提出
する8月に間に合うよう
に調査検討を進めること
になった。

調査項目として、初め
に結論ありきではなく、
①飯田下伊那地域から両
高校への進学分布、②両

高校の施設・設備の状況
③通学に係る公共交通機
関の状況、④かつて両高
校の統合が発表された当
時の保護者や学生の意見
等、⑤統合された後の校
舎の利活用、⑥ものづく
りの拠点校としての位置
づけなど総合的に検討す
ることとなった。

**飯伊地区森林・林業・林産業
活性化促進議員連盟総会**

5月28日 県文化センター
○講演

「長野県森林づくり県民
税とその活用について」

町村議会議員研修会

6月2日松本文化会館
○講演

「地方議会の危機管理
術」
「地方議会をどう変える
か」

**三遠南信道路建設期成
同盟会**

6月30日・1日名古屋・東京
○三遠南信道路建設促
進・国道153号改良
促進・天竜川上流治水
対策の要望
○要望先
国土交通省・財務省・中
部地方整備局・関東地
方整備局・地元代議士

一般質問

**保育料・第3子以降無料化は
視野に入れ考える**
木下 壽雄 議員



保育園で遊ぶこどもたち

Q 先日九輪草の売店の横に五平餅を食べていた20代後半の女性2組（2人の子供づれ）に話を聞いた所、喬木村に住んでみたいが第3子以降の保育料が無料ならいいと言っていた。村は第3子以降を無料化に踏み切れることはできないか。

5町村の理事者に「北部5町村常設の結婚相談所開設と、常勤結婚相談員の要望書」を提出した。村、北部の状況はどのようになっているか。
A 第3子を無料にした場合年間約450万円位かか

中原の住宅分譲地の要綱を手持ちの人たちを優先できるようならないか。福祉医療給付金、出産祝金制度も継続し魅力ある村づくりに配慮してもらいたい。若い夫婦の人たちが住んでみたいと思うような喬木村の福祉子育て等思い切った施策も必要ではないか。
結婚相談員の活動は下伊那北部5町村の結婚相談委員会が連盟で、

1人でも多くの方に喬木村に住んで頂き、1人でも多くの子供を生んでもらいたいと思う。現在の施策を継続し新たに考えた考える。
村では、相談員の方たちが月に1回第2土曜日に相談を行っている。19年の1月からこの5月までに15回行っているが結婚にまで至っていない。北部では松川で4組豊丘で1組昨年結婚に至った。

現在20%保育料を削減しており全体で1千万円近くかかっている。第3子以降無料にしている所が北部でもあるわけだが、村では全体でやっている。来年度以降視野に入れて考える。
今回は、喬木村の枠を取って設定しておきたい。7区画のうち2区画。現在の給付制度を継続して給付していく。

「村土」の利活用は 原 嘉 俊 議員 村長 慎重な対応が必要

A 農地は、耕作者自ら所有して耕作することが一番大事だ。受益者で行っている農道、用水の共同管理等、考慮すべき問題が生じ慎重な対応が必要である。企業参入以前の問題として、耕作者の地位の安定、向

Q いま燃料か食料かの論議が深まる中、人間の生存権として食糧を生産する基盤としての農地について質したい。①農地制度の見直し論議が各界や農水省の「農地政策の展開方向」をめぐって盛りこんだがどう思うか。又村内農地の利活用について、宅地開発との整合性をどう考えるか。②耕作放棄地解消対策について、村の現況と実情調査、解消計画策定などどう対処するのか。③村

成14年当時の村土をめぐる環境条件が変わってきている中、この見直しすべきと思うがどうか。
ふるさと寄付制度について実施の考え方はどうか。また喬木村の魅力ある施策と幅広い呼びかけが必要と思うがどうか。

上等農業生産力の増進を図ることが最重点課題だ。村の耕作放棄地の現況は38,8ha。
7月の農業委員会の改選後に、早急に考える。18年度に第4次総合振興計画を作成し、中間年の見直しの位置付け、社会基盤整備計画の土地利用計画を組み入れている。
村では寄付金制度でスタートしていきたい、来年度の予算に、村と協働で地域づくりに取り組んでいる自治振興交付金の一部として配分をする予定。



耕作放棄地

ゴミのポイ捨て防止対策は

村長 意識の高揚をはかりたい

久保田 清文 議員

Q 喬木村は山間部が多

くどこの地域の道路わきの草むらにも空き缶などゴミのポイ捨てが見受けられる。村では散乱防止の看板を設置しているが、この看板も古くなり字がかすれ見にくい看板もある。看板の設置場所の見直しの考えは。

村民にゴミのポイ捨て防止の意識を知らなく

はならない。村の対策は。村内には空き家が多くなってきた。村内には何軒の空き家があるか。空き家をねらう連続放

火事件が多発している。

燃えやすいものを置いてあると犯人にねらわれやすい。火災が発生した場合発見が遅れ大事に至る。中には長年放置し屋根も落ちかかり見苦しい光景も。防火防犯対策として村で持ち主に対し啓発文など送付し

たらと思

うが村の

対策は。

A ゴ

ミのポイ捨ては究極的には個人の意識の問題であり、モラルの問題である。ポイ捨て防止の看板については新規

に要望カ所も出てきており、古くなったものも合わせて見直しをして、意識の高揚をはかっていきたい。

村内の空き家は現在54戸あるが、防火対策については、基本的には所有者の方に管理をしっかりとお願いしたい。一般の通行に支障が出たり、危険を及ぼすような場合には、村としても撤去移動など、必要な措置をとる旨、所有者に伝えていきたい。



ゴミのポイ捨て防止を訴える看板

Q

さきの参議院選挙において自民党が大敗、衆参両院の間で所謂ねじれ現象がおきて、ガソリン税暫定税率も失効して、一時的であったがガソリン価格も下がった。村長は国会でこのねじれをどう思うか。

道路特定財源については、全国首長の殆どがそれを維持確保することを主張しているが、民意は一般財源化を望んでいる。多くの議会議員も民意とは逆の決議をしている。何が問題か。中央集権を国に描いたような道路特定財源の維持は地方分権と

道路特定財源の必要性は

太田 忠 議員

村長 当面は必要である

は逆行するものである。この二律背反の二つの命題にどう折り合いをつけるのか。

A ねじれは起こり得ること。党利党略優先で十分に討議が行われていないことが問題である。それぞれの主張に妥協を加えながら一致点を見出す努力をしてほしい。当地域は三遠南信自動車道もひかえており、道



村道7号線工事現場

路特定財源制度については当面必要であると考えている。道路は最も大きな社会資本であり、道が開けば人が行き来するようになり商業も賑わいが増してくる。地方分権も理解するが必要なものはやはり必要という他はない。本場に必要道路の決定プロセスが国民に判るような仕組みが必要である。

一般質問

一般質問

国保税率の算定基礎数字
に間違いがあるのでは
原 東彦 議員
村長 国の指示通り算定している

べきと思うが。そうすればもつと国保税の引き下げになるがどうか。

後期高齢者医療制度は多くの問題点があるが、特に診療報酬の件で制限がある。問題の多い後期高齢者医療制度を廃止すべきと思うがどうか。

今年度の療養給付負担金は国の指示により県から配信したシートにより行い、第1、四半期分を1年分に換算したところ7千5百14万円となった。現時点では根拠となる数値なので、再算定の数値としている。

平成19年度の喬木村の国保税は郡下で2番か3番目に高い。平均的な世帯で豊丘村に比べ3万8千414円も高い。

また、一般会計からの繰入れ金を県平均並の1人当たり2千6百円計上す

なお法定外の一般会計からの繰入れ金については、今のところルールに沿った算定基準で



いきいきクラブ

役場職員の退職年齢の見直しは

北 沢 光 昭 議員

今のところ特別な対応はしていない
村長

喬木村の職員の定年は60歳ということを決まっているが、退職勧奨があつて59歳で自主的に退職しているようだが、そろそろ見直す時期にきているのではないかと。年金も65歳支給となればそれまでの生活が大変であり、民間においても定年延長や、嘱託などで働き場所を確保している。喬木村ではどうなっているか。



役場内部

後期高齢者医療保険税を天引され、物価の高騰で生活の苦しい多くの人たち。こうした人たちへの暖かい村政を期待したい。

後期高齢者医療給付負担金は国の指示により県から配信したシートの算定方法が適正でなかったことを認めました。

役場職員の定年は、条例により60歳となっている。一般的には、主査以上の職員は毎年3月31日で59歳に達する職員は、勧奨退職することが通例となっている。

阿島傘の伝統をどうしてしまおうのか

元 島 賞 子 議員

村長 早急に具体策を検討していく

Q 阿島傘は今、村には菅沼商店一軒と阿島傘保存会の方々とによって支えられている。各々に病気や高齢で保存育成は今ぎりぎりの状態にある。271年の阿島傘の伝統をどうしてしまおうのか？今こそ行政として支援できることを真剣に考える時にきている。阿島傘への村長の考えと行政としての支援策を伺う。

環境問題は世界の人々の緊急の課題である。策定した喬木村地域エネルギービジョンをどう具体化していくのか伺う。

A 阿島傘を伝統工芸として守っていくという事は歴史上、大事なことです。村としても何とか維持しているような形を構築していきたい。

後期高齢者医療制度は4月から始まったが国民の怒りでうずまいている。様々な新たな問題も浮きぼりになってきた。村



昨年6月に、阿島傘を村の伝統保存技術として選定をし、阿島傘の製造技術が



知事が伝統工芸の阿島傘について尋ねる

未来につながっていくことを願っている。何とか早急に具体策の立て直しを検討していく。

後期高齢者医療制度問題は4月のスタートから机上の計画と実際はかなりの差が離れた内容でいろいろな問題が生じている。村としても広域連合に又県にも要請していく。エネルギーに対する取り組みは協議会を立ち上げ学習、地域内資源の掘り起こし、教育活動等研究を進めていく。

高齢者虐待の把握とその対応は

小澤 博 議員

村長 早期発見のネットワークの構築が必要

A 高齢者虐待は複雑な家族事情が多く、なかなか発覚しにくい。発生する場合は介護のストレスによるものが多い。高齢者虐待は非常に重要な問題であり、早期発見のためのネットワークの構築が必要と考える。具体的には、民生児童委

また、介護者の学習会、介護者同士の親睦会、介護研修会を実施して介護者負担の軽減に努め、高齢者虐待防止を図っている。

法の施行後2年が経過したが、虐待の通報があったかどうか。虐待の現状をどの程度把握し、どのような防止の取り組みをしているか。

現在、地域包括支援センターが相談を受けており、今までに数件の相談があり対応している。介護サービス提供事業者、ケアマネジャーの会議を定期的に開催し状況の把握に努めている。

Q 高齢者人口の急激な増加に伴い、家族親族などから暴力を受けるなどの高齢者虐待が、大きな社会問題となっている。

高齢者を虐待から守るための「高齢者虐待防止……法律」が平成18年4月から施行された。

この法律では、65歳以上の高齢者に殴るける、食事を与えない、長時間の放置、無視や暴言などの虐待を発見した家族や施設職員等は、市町村に通報する義務が定められた。高齢者虐待は、早期発見・早期対応ネットワーク

クづくりが、極めて大事だと思いが、高齢者虐待をどのように考えているのか。

法の施行後2年が経過したが、虐待の通報があったかどうか。虐待の現状をどの程度把握し、どのような防止の取り組みをしているか。



デイサービスセンター

一般質問

Q 平成17年12月に旧中跡地利用を考える会の皆さんが村へ旧中学校の校舎、及びその周辺の利活用についての提言があり村では議会、職員、住民代表等で旧中学校舎等整備検討委員会を立ち上げ、庁舎内での検討が始まった。提言書の中に20年度頃までに旧中跡地について住民の気運を高める程度の方向をみいだしたいと書かれてる。村でも第4次基本構想の中に隣接する棕記念館、図書館と連携を図り、村の文化振興の拠点にしていくとあるが、財政がなかなかきびしくなっていくか、村ではどのように考えているのか。



取り壊しが決定している旧中学校校舎

村長 校舎は取り壊し、駐車場にと考えている
横前 豊 議員

A 旧中学校舎は取り壊す。その後については、当面は駐車場として利用を考えている。又、芝生公園については、大型車も進入できるようなことで改良を考えている。旧中学校舎の整備研究委員会の提言については、生涯学習センターの機能を持った300人程度の内容の多目的ホールという提言であるが、大きな投資になるので充分その気運が高まるのを待ちながら進めていきたい。

阿島傘の伝承、磐田市竜洋の交流は

森谷博之 議員

村長 伝統産業を絶やささない対応

Q 阿島傘の伝承は、阿島傘保存会の会員が、修学旅行の体験などに講師として製作指導に当たっているが、高齢化によってこのままでは、自然消滅していくことも否定できない。歴史あるこの傘を、村が積極的に関与していくことが必要であるが、村の考えは。竜洋町が磐田市と合併したことにより、年々交流が減っているが、村は今後どのように対応していくのか。又、新しく友

好町村という声もあるが、村の取り組みは。
A 阿島傘は伝統産業の一つであり、指導者の高齢化、後継者不足等多くの課題を抱えていることは承知している。和傘を観光キャンペーンに使うのも一つの案と思う。この伝統産業を絶やささないよう各方面の声を聞きながら早急に対応していきたい。

市長が村へ表敬訪問され、また、こちらからも訪問し交流を期待していたところ、先月、磐田市との協定を打診したが、磐田市としてその考えは無く、民間レベルの対応で進める方針である。村としては、今までどおり民間で続けて行きたい。他の町村と友好関係を締結する考えは今のところ持っていない。



磐田市竜洋地区りんごオーナー園

心癒されて

喬木村伊久間 矢田和義

喬木村に住んでもう十
年余になります。越して
来た頃は農免道路も開通
しておらず閑静そのもの
でした。やわらかな陽の
光、鳥のさえずりで朝を
迎え、初夏の夜には蛍が
飛び交う、そんな自然の
豊かさが満ちていました。

でも、いつしか蛍の姿
は消えてしばらく目にす
る事もなくなつてしまつ
ていました。でも、最近
わずかですが蛍を再び目
にするようになりました。
環境を整えてカワニナ
の住める川にし、蛍の戻つ
て来る日が近いのを待ち

たいと大いなる期待をし
ています。

元来、釣り好きの私は
天竜川の側に住み、釣り
三昧に生きるのが夢でし
た。夢が叶い朝から晩ま
で天竜川で糸を垂らす日
もありました。そんな私
がメダカという小さな魚
と出逢いすっかり心奪わ
れてもう、七年になりま
す。メダカと一口に言つて
も奥深く、一匹百万円とい
う高価なメダカもすぐに
完売という時代です。価
格はともかく、本当にた
くさんの種類がいて色も
形も多種多様です。

るその可愛らしさは何に
もかえがたく至福の時間
です。鉢に草を浮かべ、
睡蓮の花が咲きその中を
メダカが泳ぐのを見てい
ると本当に心癒されます。

メダカが縁で村内外に
仲間が出来、月一度メン
バー十人集まってメダカ
を肴？に情報交換等して
楽しい時を共有していま
す。周りにメダカの飼育を
する人も増えています。メ
ダカ、蛍、セミの声、子供
の頃の夏の風物詩でした。
喬木はいつまでもそん
な自然と心豊かな癒しの
里であつて欲しいと願つ
ています。(愛情を持って
稚魚から育ててみたい方
に小さな癒しの天使さし
あげます。)

私の一言

今、この時期は
産卵、孵化の時期
でいかに小さな命
を残すかが一番の
課題になります。
しかし、日々成長
していく過程は毎
日本当に楽しみの
一言に尽きます。
水面に写る私の影
を感じて寄つてく



睡蓮の花と白メダカ

議 会 日 誌

4 月

10日	行政企業視察研修(村内)
13日	三遠南信山本～天竜峡開通式
16日	広域地域課題検討委員会
17日	道路期成同盟会全国大会
20日	消防団春季訓練
24日	総務産業建設常任委員会とJAとの懇談会 議会全員協議会
29日	りんごオーナー園開園式

5 月

1日	広域高等学校改革検討小委員会
2日	次世代型情報通信整備事業開通式
4日	氏乗区ふるさと応援団記念式典
14日	広域議会改革検討委員会 広域議会運営委員会 飯田建設事務所要望活動
15日	北部ブロック正副議長視察研修～16日(浜松市)
18日	阿島里山公園祝賀会
20日	町村議長副議長研修会～21日(東京都)
22日	広域高等学校改革検討小委員会 広域地域課題検討委員会
26日	広域臨時議会 郡町村議会議長会総会
27日	広域シルバー人材センター通常総会
28日	森林・林業・林業活性化促進議員連盟総会
29日	県議会文教企業委員会現地調査(売木村)

6 月

2日	町村議会議員研修会(松本市) 阿南学園50周年記念式典
3日	戦没者追悼式
4日	議会開会
5日	広域高等学校改革検討小委員会
10日	町村議会議長会役員会
12日	議会一般質問
16日	社会文教常任委員会
17日	総務産業建設常任委員会
23日	議会閉会
24日	農業経営改善計画審査会 農業振興地域整備促進協議会
29日	消防ポンプ操法大会
30日	三遠南信道路建設期成同盟会



福田首相は国連の食料サ
ミットで「食料自給率(現
在39%)の向上を通じ、世
界の食糧需給安定に貢献す
る」と表明した。

農家には減反を押し付け
る一方、輸入米の在庫が百
五十二万トンに達している。
自給率向上というのであれ
ば減反をやめるべきだ。

減反政策の背景に、米の
価格を市場任せにしてきた
問題があることは明らかだ。
価格保障制度を導入すれ
ば、無理な減反をせず安心
して米づくりができるはず
だ。

議員発議として「世界的
な食料危機を背景に、わが
国農業の生産振興による食
料自給率の向上を求める意
見書」を関係機関に提出し
た。このことは時宜を得た
提案、だったと思う。

編集委員会

委員長 原 東彦
副委員長 木下 壽雄
委員 太田 忠
委員 小澤 博
委員 元島 賞子